

PRIの推進する投資について

2021年2月3日

PRI シグナトリリーレーション
ジャパン・ヘッド 森澤 充世



PRIについて

投資家を中心とした国連が支援するイニシアティブ

PRIは6つの責任投資原則の実施に向け、署名機関の国際的ネットワークの構築とサポート

投資の意思決定プロセスに、ESG課題環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)を考慮に入れることで価値を変える原動力となる

機関投資家が長期的な視点で投資することを促進する枠組み



2006年発足

長期の視点からの投資

企業の財務情報＋企業のESG情報（＝将来財務情報）
から企業の持続性や成長を判断

メインストリームになるESG情報

マテリアリティ(重要性)は動的な概念で進化する。法律や政策
の変化、リスクに関する変化、社会の期待と規範の変化

エンゲージメント

投資先の企業行動について改善提案

潜在的なリターン向上の可能性、リスクの削減

PRIの促進する投資（ESG投資）

中長期的な企業価値を財務情報と**ESG**情報で評価

財務情報

+

ESG情報（例）

Environment

気候変動
環境戦略
水資源管理
森林保全
生物多様性

Social

人権
サプライチェーン管理
安全衛生
製品の安全性
従業員の関係

Governance

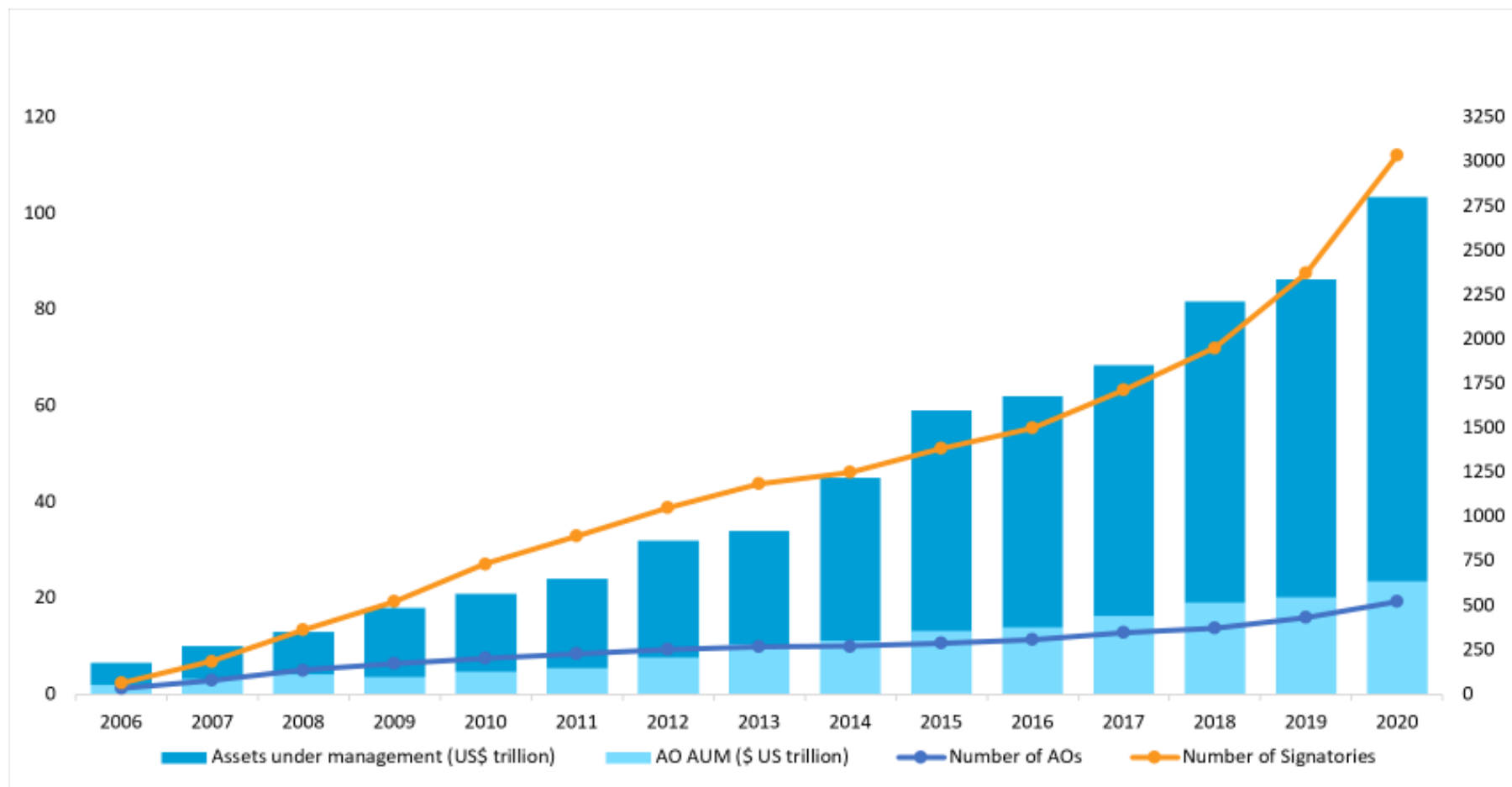
取締役会の組織
社外取締役
法令順守
企業倫理
利益相反

中長期的な企業価値評価

PRI署名機関数の変遷

Assets under management (US\$ trillion)

of Signatories

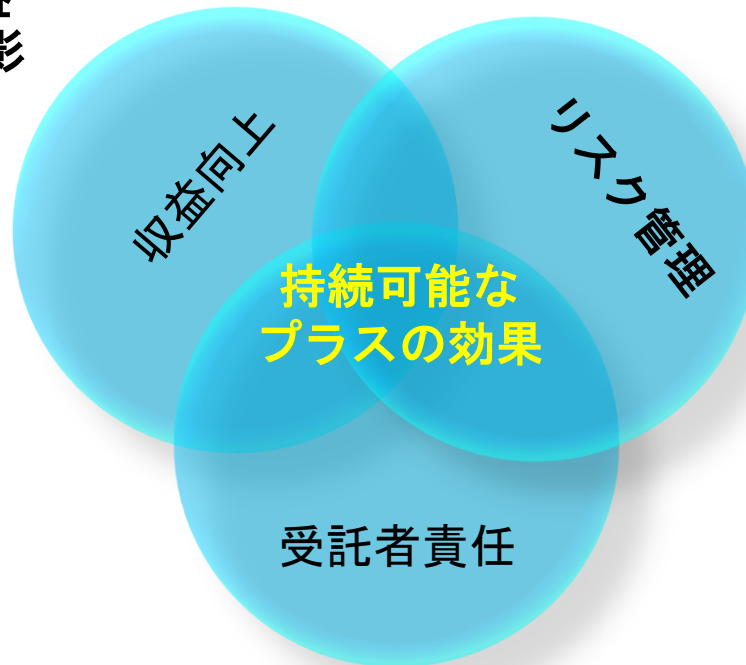


なぜESG投資が選ばれるのか

ESGを使用する背景

- 長期的な投資の収益性に対する**ESG**の影響の評価

ESG要因がリスクとリターンの決定においてしばしば重要な役割を果たすという認識が金融コミュニティ内で高まっている。



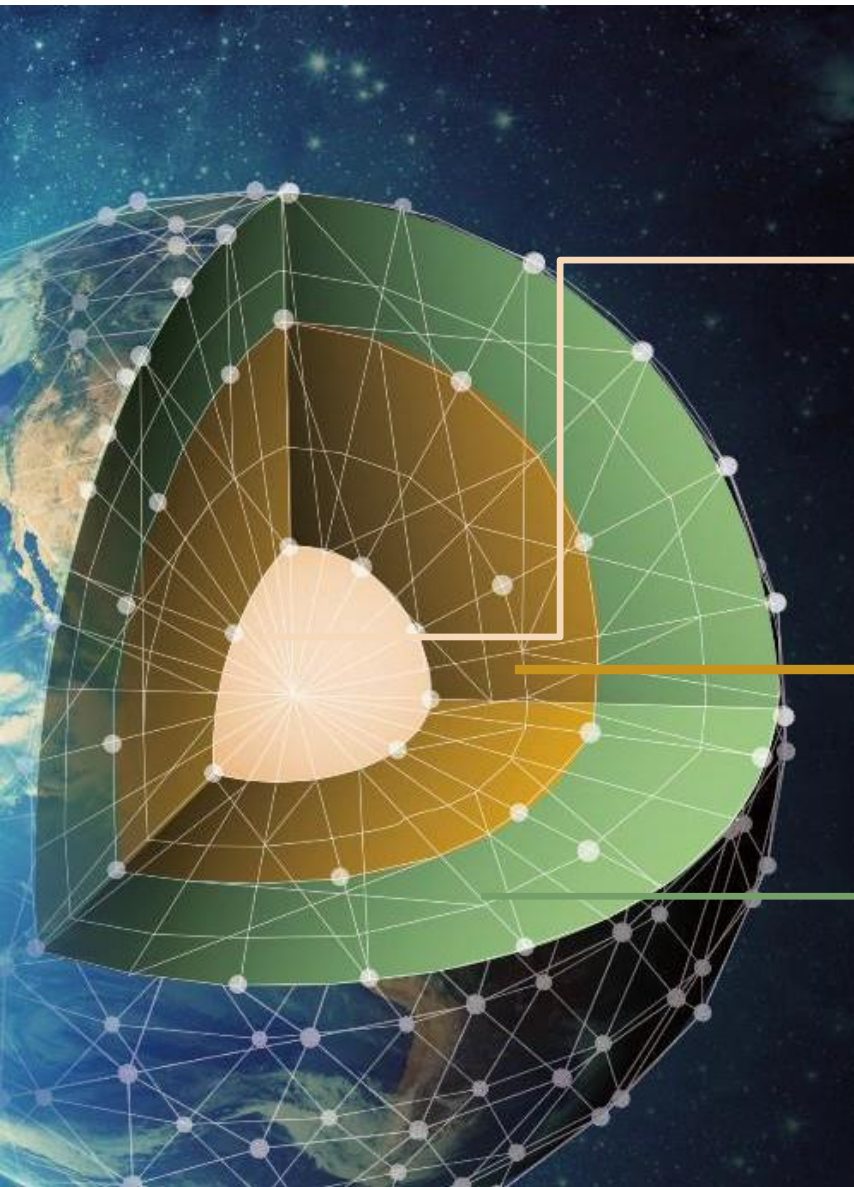
- 重要なESGの問題と関連するシナリオを評価する
- ESG要因の組み込みを投資家の顧客や受益者に対する受託者責任の中に含める規制ガイダンス水準が上がっている。

受託者責任は、他人の資金を管理運用するものが自らの利益ではなく受益者の利益のために行動することを保証するために存在する。

忠実性・慎重性

- 投資家の慣行と市場効果を改善する

PRI “Blue Print” 向こう10年間のビジョン



①責任ある投資家

- アセットオーナーの影響力を強化
- 投資家によるESG課題の組み込みをサポート
- アクティブ・オーナーシップのコミュニティを育成
- 説明責任強化のためにリーダーシップを発揮
- 責任ある投資家への啓蒙活動

②持続可能な市場

- 持続可能な金融システムへの障壁への挑戦
- 市場に意味のあるデータの普及

③真の豊かな社会

- 気候変動に対する対策の支持
- SDGSが実現される世界を目指す

PRI Blueprint -責任投資のビジョン

インベストメント・チェーンを率いるアセット・オーナーには、巨大なパワーと影響力がある

アセット・オーナーは市場の方向性を決める。

アセットオーナーが運用会社に与えるマンドートによって資金の投入対象が決まる。2020年代以降の受益者への義務を果たすためには、自らの投資が実体経済と受益者の暮らす社会に与える影響を認識する堅牢な投資解決手法が必要である。

運用会社及びコンサルタント

市場シグナルの増大に伴い、資産運用者及びコンサルタントは、より多くのESG商品、サービス、アドバイスを提供

アセットオーナー

規模と深みを拡大して責任投資へのコミットメントを展開することにより、インベストメントチェーンに対して適した責任投資を加速

アセット
オーナー

政策立案者

インベストメント・チェーンに持続可能性が組み込まれている場合、政策立案者は責任投資慣行を強化する規制イニシアティブを支持

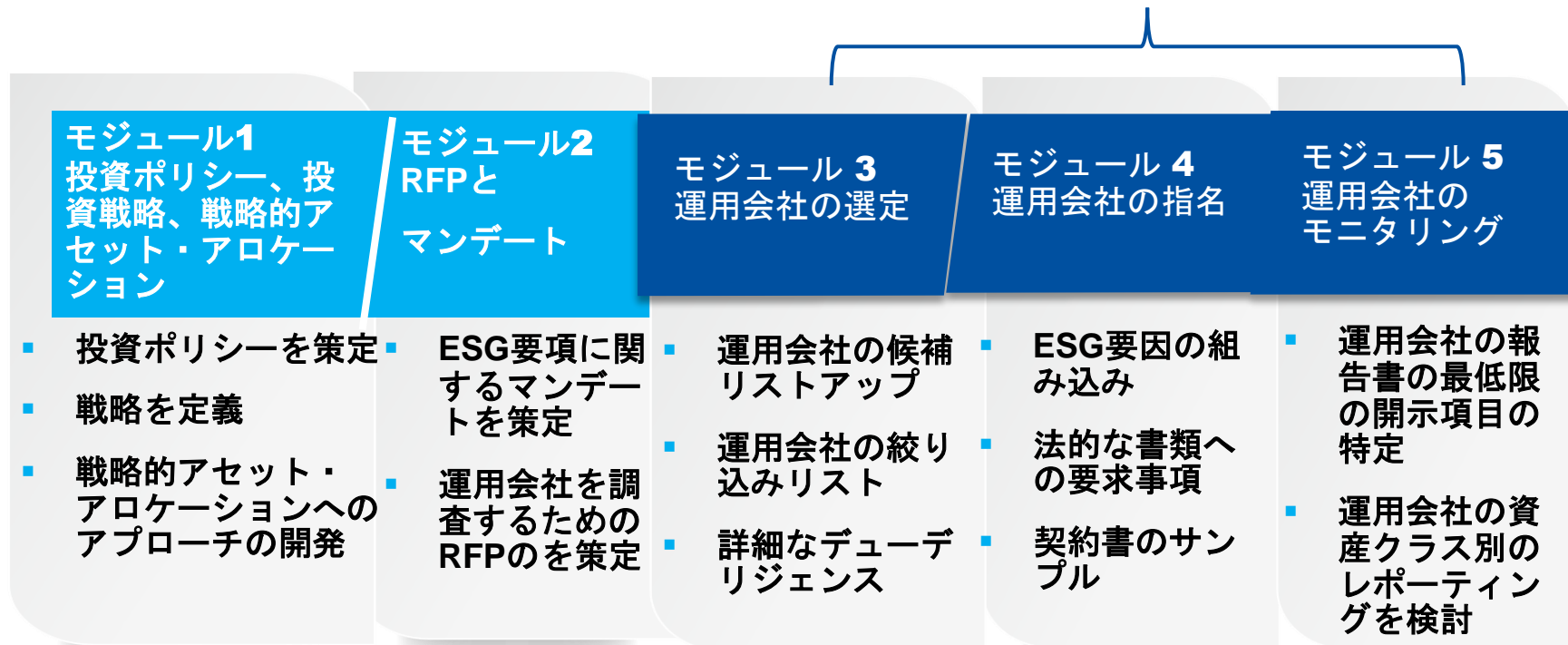
アセットオーナーが委託する際のガイダンス 2020年

運用会社の選定、指名、モニタリング (SAM)のプロセスについて

アセット・オーナーに実践的なガイダンスを提供するテクニカルガイド

- 主な特徴としては
 - 法的な手続きに含まれるESG条項
 - アセット・マネージャーへの一連の質問

[download \(unpri.org\)](https://www.unpri.org/download)



受託者責任

2005年：フレッシュフィールドレポート

「財務パフォーマンスの予測信頼性を高めるために投資分析においてESG問題を考慮することは、いずれの国においても許容されることであり、議論の余地はあるものの、むしろ要請されるべきことである」



2015年：21世紀の受託者責任レポート

受託者責任とサステナビリティ（持続可能性）の関連性について議論 8か国で調査

「重要なESG課題を考慮しないことは受託者責任への違反になり得る」



受託者責任は、他人の資金を管理・運用するものが自らの利益ではなく、受益者の利益のために行動することを保証するために存在する。忠実性・慎重性が重要

インパクト投資の法的枠組み

国際法律事務所フレッシュフィールドズ・ブルックハウス・デリンガーとの先駆的なリサーチ。投資家が法的な枠組みにより、サステナビリティ・インパクトを主要市場全体でどこまで検討できるかを分析

“With Covid19, we see the impact of externalities and they’ve never been more acute.” - Fiona Reynolds, PRI in conversation with David Blood, Generation Investment Management - [listen here](#).

“It’s become clear that we and similar institutions will not be successful unless we integrate sustainability, in its broadest sense, into our operations.” - Martin Jonasson, AP2 in conversation with Elodie Feller, UNEP FI - [listen here](#).

Project background:

THE FIRST GENERATION

of responsible investment

ESG課題を考慮することは明らかに許容されること
[Freshfields 2005 report](#)

Project background:

THE SECOND GENERATION

of responsible investment

意識は高まるが、実施にはギャップ
[PRI & UNEP FI 2015 report](#)

Project background:

THE THIRD GENERATION

of responsible investment

投資家が投資活動において、実社会のサステナビリティ・インパクトを測定し、統合しはじめている

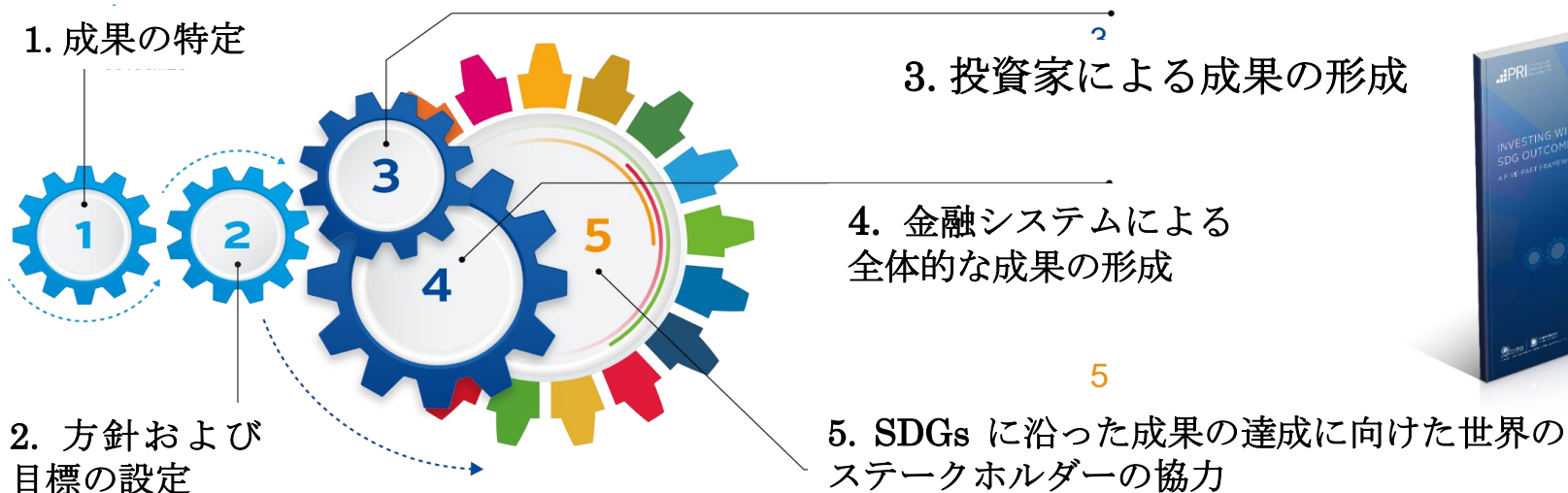
インパクト投資の法的枠組みに関する詳細は [こちら](#).

持続可能な開発目標（SDGs）

SDGsの成果を伴う投資に関するPRIの5つのフレームワークを通じた実践的なガイダンス

SDG アウトカム・ケース・スタディ – 機関投資家がどのようにして投資の現実社会での成果を理解し、それを形成していくか

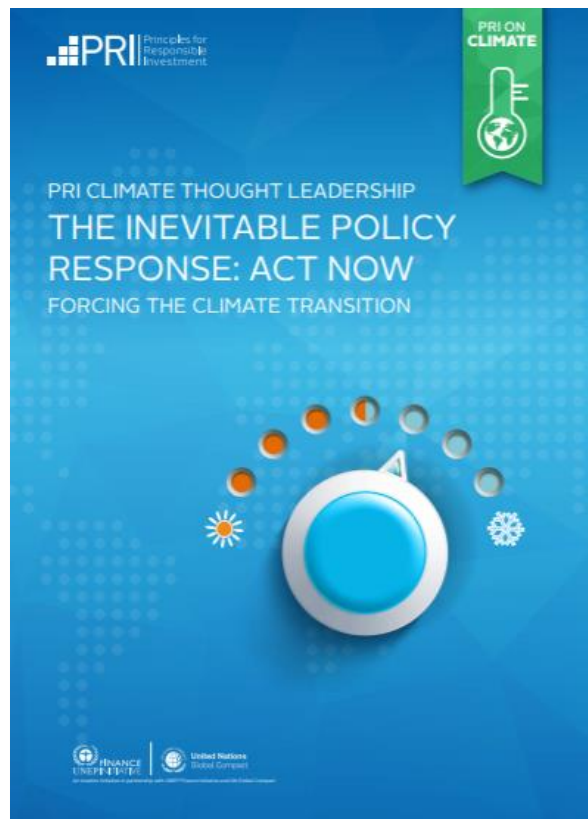
SDGs とインフラストラクチャー – How infrastructure investors can contribute to SDG outcomes と5つのケース・スタディを発表



PRIの5つのフレームワークは [こちら](#). 日本語参考訳は [こちら](#)

The Inevitable Policy Response: Act Now (必然的な強硬政策に備えた対応を)

気候シナリオに関しては、より危機感をもって検討する必要



- PRIは投資家のための新しい活動分野の提案ならびにその実践を支援
- 気候政策に関する行動の遅れが長ければ長いほど、必然的により強硬で緊急の政策が必要となり混乱を招く可能性がある
- こうした予想は今日のマーケットや投資家のアロケーションにまだ織り込まれていない
- この予防的な取り組みは、投資家が現在および将来にわたって投資ポートフォリオ全体にわたってレジリエンスを構築・強化できるよう支援することを目的とする

The Inevitable Policy Response (IPR)

必然的な政策に備えた対応を

PRIの委託により、Vivid Economics と Energy Transition Advisorsが実施

気候変動の現実が明らかになるにつれて、政府がこれまでよりも強固とした行動を取ることを余儀なくされることは避けられない。

このプロジェクトを通じて、PRIは署名機関が2025年までに実施されるであろう政策対応の影響を評価し、気候変動リスクに対処できるよう支援

IPRの目的は



気候関連の政策および規制リスクに対しての準備を金融市場に促す事

投資家向けツール & ガイダンス*



FPSのデータはこちらから
unpri.org/climate-change.

Policy Forecasts* (政策予測)



政策-2025年までに技術的にも実施される可能性が高く、「公正な移行」というレンズを通して検討

財務インパクト*



ボトムアップによるFPSの主要な資産クラスとソブリン債の財務に与える影響。
株式市場への影響についてのレポートは[こちら](#)から。

Forecast Policy Scenario (FPS)*政策予測シナリオ



エネルギー、輸送、土地利用セクターレベルの政策予測によるインパクト

*Vivid EconomicsとEnergy Transition Advisorsが着手

PRIとしてポリシー（政策）への活動

スチュワードシップ、タクソミー、ディスクロージャーなどの分野でのエンゲージメント

UK 実体経済の脱炭素化について政策立案者に働きかけており、優先的に取り組むべきセクターに関する**ブリーフィング**を発表した。

EU 新たに策定された持続可能な金融戦略に対する**コメント**は、パリ協定やSDGsに沿った、金融業界のための明確で野心的で説得力のある長期ビジョンの必要性に対処することを提言しています。**レポート**は、投資家がEUのグリーンディールと持続可能性の目標への貢献をより広範に拡大する方法を示している。

US



労働省が提案した ERISA 受託者のための規則案に対し**コメント**を提出し、署名機関向けの**ブリーフィング**を発表しました。この提案が ESG 統合慣行に関する基本的な誤解を反映しており、混乱を招き、貯蓄年金者、受託者、サービス・プロバイダーの損出につながる可能性があるとの懸念から、この提案を撤回するよう労働省に強く求めた。また、米
国連邦政府の気候政策の優先順位に関する**ブリーフィング**を発表した。



中国

「クリーン・コール」資産はグリーンには該当しないと明確化された事を、**歓迎**する。パリ協定との整合性を評価し、グリーンと分類されたプロジェクトが他の環境的・社会的目標に対する重大な危害を回避しているかどうかを評価するための技術的なスクリーニング基準を開発することを推奨する。



日本 スチュワードシップ・コードの責任にサステナビリティが導入されたことを歓迎。スチュワードシップ活動と企業の情報開示を推進するために、金融庁を含む政策立案者へのエンゲージメントを継続する。



お問い合わせ policy@unpri.org

日本での規範の策定～ESG投資推進～

スチュワードシップコード日本版

2014年2月策定 2017年、2020年改訂

スチュワードシップ責任を果たすために明確な方針を策定し公表する。

サステナビリティ（ESG要素を含む中長期的な持続可能性）の考慮

機関投資家を資産保有者のアセットオーナーと資産運用者の運用機関に大別

アセットオーナーが、運用機関に対してスチュワードシップ活動促進

機関投資家向けサービス提供会社は投資資金の流れ（インベストメントチェーン）全体の機能向上を果たす重要な役割を期待

スチュワードシップ・コードは、コーポレートガバナンスを改善する為の強力なメッセージ

コーポレートガバナンスコード

2015年策定、2018年改訂

1) 株主の平等性、2) ステークホルダーとの協働、3) 非財務情報の開示を含めた透明性向上、4) 取締役会等の責務、5) 株主との対話 の5項目

- 1) 政策保有株式財務情報の情報開示
- 2) 企業年金のアセットオーナーとしての機能発揮
- 3) ESG情報の説明
- 4) CEOの育成 取締役の選任解任の説明
- 5) 事業ポートフォリオ、設備投資・研究開発投資・人材投資等を含む経営資源の配分について株主への説明

企業の持続的成長と
中長期的な企業価値向上

企業と企業年金基金の価値観は一致する

責任投資のメリット：

- 投資パフォーマンスの向上
- 受託者責任の履行と規制リスクの管理
- 外部の運用会社および第三者アドバイザーとの協調の向上
- 年金債務（赤字）管理の支援
- 母体企業の信用度および従業員定着率の引き上げ

“UnivestのCIO、Mark Walker氏の後押しにより、UnileverはPRI署名機関となりました。UnileverとUnivestは、持続可能性と責任投資に関して企業と年金基金の受益者の双方に対して一貫したアプローチを取ることによるメリットを支持しました。”

レポートのリンク：

https://www.unglobalcompact.org/docs/publications/Aligning_values-why_corporate_pension_plans_should_mirror_their_sponsors-JP.pdf

日本語参考訳は[こちら](#)から



附録

COVID-19

PRIが、投資家が取るべき対応を取り纏め

投資家が早急に取り組むべきアクション

1. 危機管理に失敗している企業へのエンゲージメント
2. 隠れた不都合・リスクがある企業へのエンゲージメント
3. エンゲージメントのトピックの見直し
4. 経済全体への対応を支援
5. バーチャルな株主総会への参加
6. 財政支援の要求を受け入れ
7. 投資判断における長期的な視点の維持

サステナブルなリカバリー

- 人権と労働慣行
- 気候変動と生物多様性の緊急事態

このような脅威に対応するための市場の構造と準備状況の確認。

PRI 署名機関への案内

PRI Bulletin

責任ある投資家はコロナウイルス危機にどのように対応すべきか

PRIが提案したコラボレーション

- COVID-19に対する投資家の短期的な対応
- COVID-19の回復局面における持続可能な金融システムの確保

unpri.org/covid-19


附録

PRIの新型コロナウイルス対策のセカンド・フェーズ

持続可能で包括的なCOVID-19の回復と改革にスポットライトを当てる

前四半期に設立された2つの新型コロナウイルスPRI署名機関参加グループ（短期的なESG対策および長期のサステナブルな復興が焦点）には、200を超える投資家が参画しました。PRIはこの取り組みを次の5つの分野で進めていきます。

世界がCOVID-19の予期できない結果に取り組むとき、次のような方法で回復する必要があります。

- 
- ✓ サステナブル
 - ✓ インクルーシブ（包括的）
 - ✓ 具体的な改革を実現

これを実現するためには、責任ある投資家は政策への関与（ポリシーエンゲージメント）を強化しなければなりません。

2020年度年次株主総会シーズンにおける新型コロナウイルスとESG

緊急に解決すべき人権と労働権の問題

サステナブルでインクルーシブな復興と改革

新興国に対する新型コロナウイルスの影響

危機の際に機能する金融システム

関連する資料、リソースは [こちら](#)。 担当者： Siobhan.Archer@unpri.org。

附録

行動のための7つのフレームワーク

気候問題と人権の目標を達成するために、投資家と政策立案者との連携を強化



エンゲージメントや投資の目的に合ったポリシー・エンゲージメントの実施



政策立案者のスケジュールに合わせた働きかけ



技術的な専門知識に基づいたポリシーエンゲージメントの活用



政策プロセスのあらゆる段階での働きかけ。
加えて、メディアを通じた働きかけ



特にコンセンサスがあるところでは、可能な限り協働する



政策を決定をする委員会やグループの力関係の理解



誰を代表しているか、当該政策がどのように投資家に影響を与えるのかを明確化



SUSTAINABLE AND INCLUSIVE COVID-19 RECOVERY AND REFORM

附録

責任投資の入門ガイド

責任投資の主なアプローチをわかりやすく紹介するシリーズです。

- [What is responsible investment?](#) （責任投資とは何か）
- [Policy, structure and process](#) （方針、ストラクチャー、プロセス）
- [Listed equity](#) （上場株式）
- [Fixed income](#) （債券）
- [Private equity](#) （プライベート・エクイティ）
- [Real estate](#) （不動産）
- [Screening](#) （スクリーニング）

アセット・オーナーのための気候変動

AN INTRODUCTION TO
**RESPONSIBLE
INVESTMENT**

EXPLORE THE SERIES



全ての責任投資入門ガイドへのアクセス <https://www.unpri.org/pri/an-introduction-to-responsible-investment>

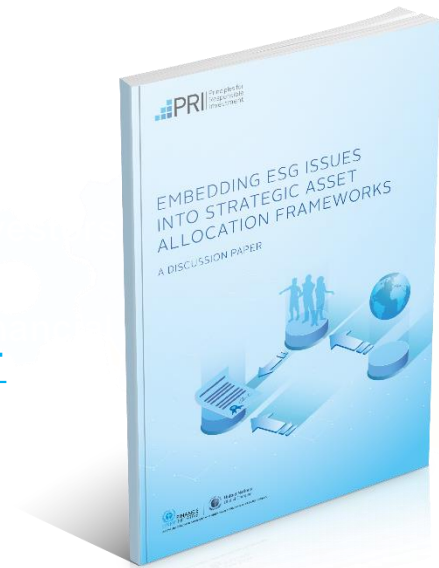
附録

戦略的なアセット・アロケーション

アセット・オーナーの長期的な収益と債務の見通しにESG課題を組み込む

PRI in Person 2019で開催されたディスカッションペーパーとワークショップの公開に続いて、以下を公開しました。

- ESG課題をSAA（Strategic Asset Allocation）プロセスにどのように組み込んでいるかに関する11の署名機関のケーススタディ。ガバナンスや気候変動のシナリオもカバー。
- 主要なテーマの概要を説明するサマリーブログ。



附録

アセット・オーナー向け資料



HOW TO CRAFT AN INVESTMENT STRATEGY

Supports asset owners, including their board of trustees and executives, in developing and formulating their investment strategy for a rapidly changing investment landscape.



INVESTMENT POLICY: PROCESS & PRACTICE

Provides a concise and implementable framework to support asset owners in revising their investment policy in order to incorporate long-term factors in their investment chains.



ASSET OWNER MANAGER SELECTION GUIDE

Aims to support asset owners in making informed decisions about the managers they select and the specific funds in which they want to invest. This includes guidance on asset owner requirements on active ownership in the selection process.



INVESTMENT CONSULTANTS AND ESG

Guides asset owners on how to ensure that the services they get from their consultants, whether covering specific assignments or the full-service suite, are aligned with their own responsible investment objectives, strategies and policies.

See all asset owner resources at: unpri.org/asset-owners

附録

投資行動に関する資料



A PRACTICAL GUIDE TO ESG INTEGRATION FOR EQUITY INVESTING

The guide contains information and case studies on integration techniques that apply to investment strategies including fundamental, quantitative, smart beta and passive investment.



A PRACTICAL GUIDE TO ESG INTEGRATION IN SOVEREIGN DEBT

Despite its size and importance, the sovereign debt market has been the subject of less systematic ESG consideration than other investment asset classes. However, appetite for ESG integration is growing among investors, with a rising number appreciating that ESG factors can and do affect sovereign debt valuations.



GUIDANCE AND CASE STUDIES FOR ESG INTEGRATION: EQUITIES AND FIXED INCOME

This guide produced by the CFA Institute and the PRI sets out best practices for ESG integration across the globe. They surveyed 1,100 financial professionals in 17 markets. The report has over 30 case studies written by fixed income and equity practitioners.



ESG MONITORING, REPORTING AND DIALOGUE IN PRIVATE EQUITY

The aim of this guidance is to support an exchange of information, underpinned by dialogue, that will keep LPs informed about the ESG characteristics of their private equity investments and the responsible investment practices of their investment managers.

See all investment practice resources at: unpri.org/investor-tools

附録

アセット・クラス別の責任投資に関する デュー・デリジェンス質問リスト (DDQ)



- **PRIVATE EQUITY:** A tool to establish dialogue between LPs and GPs. Limited partners (LPs) should first establish their own expectations and processes around responsible investment before they can engage with their general partners (GPs).
- **HEDGE FUNDS:** Helps identify those hedge funds that have the personnel, knowledge, and structure to incorporate environmental, social and governance (ESG) factors in the investment decision-making process.
- **PRIVATE DEBT:** Designed for use by indirect investors (e.g. limited partners or asset owners) when assessing potential private debt managers.
- **INFRASTRUCTURE:** This publication aims to ensure a globally consistent approach to infrastructure investor due diligence and ESG disclosure by infrastructure managers.
- **REAL ESTATE:** Developed to help investors appraising potential real estate investment managers to evaluate how a manager handles ESG factors.
- **FORESTRY:** Developed to help investors appraising potential forestry investment managers to evaluate how a manager handles ESG factors.
- **FARMLAND:** Developed to help investors appraising potential farmland investment managers to evaluate how a manager handles ESG factors.

Discover all our DDQs at: unpri.org/ddqs

附録

スチュワードシップに関する資料



ACTIVE OWNERSHIP 2.0: THE EVOLUTION STEWARDSHIP URGENTLY NEEDS

This paper proposes a higher standard for active ownership, in which investors work to deliver real-world outcomes on critical systemic issues, using strengthened collaboration.



INTRODUCTORY GUIDE TO COLLABORATIVE ENGAGEMENT

This guide is designed to provide a practical introductory guide on engaging collaboratively with listed companies on environmental, social and governance (ESG) issues.



A PRACTICAL GUIDE TO ACTIVE OWNERSHIP IN LISTED EQUITY

Guides investors on their responsibilities to conduct, request and monitor effective engagement and proxy voting activities.



ESG ENGAGEMENT FOR FIXED INCOME INVESTORS

Guidance on how fixed income investors might structure their engagement strategies as an integral part of their approach to RI.

Our active ownership resources can be found [here](#) and [here](#).

附録

ESGテーマガイド



ENVIRONMENTAL

[Investor action on biodiversity: discussion paper](#)

[Growing water risk resilience in agricultural supply chains](#)

[Engaging on methane: collaborative engagement results](#)

[Plastics: challenges and potential solutions](#)

[Implementing TCFD recommendations for methane emissions](#)



SOCIAL

[From farm to table: ensuring fair labour practices in agricultural supply chains](#)

[Human rights and the extractives industry](#)

[Drilling down into the cobalt supply chain](#)

[Moving the needle on responsible labour practices in the apparel sector](#)



GOVERNANCE

[Collaborative engagement on tax transparency: Outcomes report](#)

[Collaborative engagement on cyber security: Outcomes report](#)

[Investor-company dialogue on cyber security](#)

[Engaging on director nominations](#)

See all our investor guides on ESG issues [here](#).